

＜ 地理歴史 ＞科 学習シラバス

科 目	日本史B	学年・類型	2年Ⅱ型	単位数	2	教科書	最新日本史(明成社)
学習の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・原始・古代から中世に到る間の国家の形成と変質、政治・社会・文化の内容と発展の過程を理解する。 ・歴史への関心を深めるとともに、歴史的思考力を身に付け、常に現代社会とのかかわりで歴史を考える態度を育成する。また歴史学習の成果をもとに自らの生き方を考えさせる。 					
評価の観点	A 関心・意欲・態度	B 思考・判断・表現	C 資料活用の技能	D 知識・理解			
評価の内容	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を思ふこととする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、我が国の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を、世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	我が国の歴史の展開と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加姿勢や態度 ・予習や復習、課題への取組状況 ・ノート等、長期休業中課題 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動における発言内容 ・予習や復習、課題への取組状況 ・ノート等、長期休業中課題 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加姿勢や態度 ・課題への取組状況 ・ノート等 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動における発言内容 ・予習や復習、課題への取組状況 ・ノート等、長期休業中課題 ・定期考査 			
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容	評 価 の 観 点			
				A	B	C	D
1 学 期	4	第1編 原始・古代 第1章 古代国家の形成 1 日本文化のはじまり 2 農耕社会の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の原始社会の特色を遺物・遺跡を通して具体的に学習する。 ・大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を考察する。 ・小国が形成される過程を東アジア世界との交流と関連付けて考察する。 ・ヤマト政権による国家形成過程を、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。 ・大陸文化の伝来と古墳文化の変容について学ぶ。 ・隋・唐の建国など東アジア世界の動向との関係に留意しながら、古代国家や古代文化が形成されていく過程を学ぶ。 ・律令国家が成立するまでの政治の動向について考察する。 ・律令に基づく統治組織・官僚制・土地と民衆の把握・税制などについて理解する。 	○	○	○	○
		3 統一国家の成立		○	○	○	○
	5	4 古代文化の形成		○	○	○	○
		第2章 律令国家の発展 1 飛鳥の政治と文化		○	○	○	○
	6	2 大化の改新		○	○	○	○
		3 律令体制の成立		○	○	○	○
		7		○	○	○	○
2 学 期	8 ・ 9	4 平城京の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・律令体制の完成期としての奈良時代を、政治動向や土地政策なども踏まえて多角的・多面的に考察する。 ・天平文化における政治性と国際性、国家仏教の様相などに着目して、古代国家の展開を理解する。 ・律令体制の変質や地方の動きなど平安時代の政治・文化の諸相を東アジア世界の変質と関わらせながら考察する。 ・藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。 ・大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として国風文化が展開されたことを理解する。 ・この時期の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 ・鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。 ・宋・元などとの国際関係、公武勢力の関係、武士の土地支配、産業経済の発達などに重点を置きながら、鎌倉時代の政治・社会・文化を理解する。 	○	○	○	○
		5 天平文化		○	○	○	○
	10	第3章 貴族政治と国風文化の展開 1 律令政治の再建と弘仁・貞観文化		○	○	○	○
		2 摂関政治とその推移		○	○	○	○
		3 国風文化の隆盛		○	○	○	○
	11	4 院政と源平の盛衰 第2編 中世 第4章 武家政治の成立と文化の新気運		○	○	○	○
		1 鎌倉幕府の成立		○	○	○	○
12	2 荘園の変質と産業の発達	○	○	○	○		
3 学 期	1	3 鎌倉時代の文化	<ul style="list-style-type: none"> ・庶民や節の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい機運が生まれたことを理解する。 ・元寇の経緯を東アジア世界全体の動きの中で理解するとともに、当時の社会や後世の歴史に与えた影響を考察する。 ・鎌倉幕府の滅亡と建武政権の成立・崩壊を踏まえて、南北朝の動乱を理解する。 	○	○	○	○
		4 元寇と武家社会の動揺		○	○	○	○
	2	5 幕府の滅亡と南北朝時代		○	○	○	○
3		○	○	○	○		
学習のポイント		<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の板書やプリントの完成を確実に行うとともに、予習・復習を徹底することによって、基本的な知識を早めに定着させていくように努める。また歴史に関係する映画・テレビ・小説などに関心を持つ。 ・過去の歴史と現代の出来事のつながりを意識することで、学習したことをくらしに生かせるよう努める。 					